

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4072700372		
法人名	社会福祉法人 豊光福祉会		
事業所名	グループ・ホーム 望海荘		
所在地 (電話番号)	福岡県豊前市大字松江690番地10号 (電話) 0979 - 82 - 6090		
評価機関名	株式会社 アーバン・マトリックス 評価事業部		
所在地	福岡県北九州市小倉北区紺屋町4-6 北九州ビル8階		
訪問調査日	平成21年7月29日	評価確定日	平成21年9月8日

【情報提供票より】(平成21年7月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 10月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 7 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 6.6 人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造高床式造り	
	2階建ての	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円 / 日	その他の経費(月額)	12,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1200 円			

(4) 利用者の概要 (7月10日現在)

利用者人数	名	男性	名	女性	名	
要介護1	3	名	要介護2	1	名	
要介護3	4	名	要介護4	1	名	
要介護5		名	要支援2		名	
年齢	平均	86 歳	最低	76 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	倉富医院	花岡内科医院	川木戸歯科医院
---------	------	--------	---------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

周防灘を臨む小高い山の上に、グループホーム「望海荘」がある。この地域での福祉事業のさきがけとなる軽費老人ホーム(昭和58年開設)を運営する社会福祉法人を母体とし、在宅を支える居宅介護・デイサービスに続き、住み慣れたこの地域で馴染みのある職員や関係者とともに、認知症の方々の安心した暮らしを支援するという目的でホームを設立している。自然に囲まれた中で、四季折々の花や山菜、また畑(野菜・茶)や果樹園の収穫を楽しむことができる環境を有している。地域との根付いた関係があり、地域の方々のクラブ活動(陶芸・木工等)が施設を利用して行なわれるなど、交流の機会も多い。「共に生きる」というモットーを大切にしながら、入居者一人ひとりの安心した暮らしの支援に努めているグループホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の課題について検討委員会を開き、具体的な改善に取り組んでいる。評価の機会を活かし、サービスの質の確保に積極的に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の内容や指摘事項について、検討し改善に努めた結果を自己評価とした。職員の意見をもとに、リーダーがまとめている。
重点項目	運営推進会議の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、家族・市町村担当者・自治会・老人クラブ・民生委員・職員等の各方面からの出席にて定期開催されている。行事や外部評価、事業計画についての報告がなされ、防火対策などについても活発な意見交換がなされている。家族からの率直な不安や要望が語られ、グループホームの理解を深める機会ともなっている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)
	玄関にご意見箱を設置し、苦情受付体制を整備している。家族からの意見や苦情を歓迎し、大切に受け止めている。意見や要望があった場合には、職員に周知を図り、リーダーより家族に返答している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	豊前松江の自治会に加入しており、地域の方々のクラブ活動(陶芸・木工等)が法人施設で行なわれている。体操の時間にはデイサービス・地域の方々が参加している。地域住民が気軽に立ち寄る関係が構築されており、来年には地域の方々と2年がかりで取り組んだ防火槽の設置が実現する。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念	敬愛・融和・希望を理念として掲げ、活動の活性化を目標に日々取り組んでいる。理念を礎とし地域との連携を行い、お互いに希望の持てる社会づくりを目指している。「やさしさをもって共に生きる」を職員の意識の基本とし、「やさしさ」をささえる日頃の心掛けについて素直な心・感謝・反省・奉仕の心等、具体的に明示している。		
		地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている			
2	2	理念の共有と日々の取り組み	新規採用時には管理者により理念について、その意義を伝えている。法人全体の朝礼において唱和し、理念の浸透に努めている。		
		管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる			
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい	豊前松江の自治会に加入しており、地域の方のクラブ活動(陶芸・木工等)が法人施設で行なわれている。体操の時間にはデイサービス・地域の方々が参加している。地域住民が気軽に立ち寄る関係が構築されており、来年には地域の方々と2年がかりで取り組んだ防火槽の設置が実現する。		
		事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている			
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用	自己評価作成にあたっては、職員の意見をもとにリーダーがまとめている。昨年の評価をもとに検討会議を行い、改善に向けて取り組んでいる。		
		運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる			
5	8	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議は、家族・市町村担当者・自治会・老人クラブ・民生委員・職員等の各方面からの出席にて定期開催されている。行事や外部評価、事業計画についての報告がなされ、防火対策などについても活発な意見交換がなされている。家族からの率直な不安や要望が語られ、グループホームの理解を深める機会ともなっている。		
		運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている			

グループホーム 望海荘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携	法人として、市福祉事務所主催の地域ケア会議へ発足以来参加しており、意見交換・情報共有が行なわれている。施設横の防火槽についても、行政や地域との連携により2年がかりで取り組んだ成果となっている。		
		事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用	全体会議等において、機会あるごとに勉強会を行なっている。これまで権利擁護に関する制度について、活用した事例は無いが、必要となった場合に支援できるよう知識を深めていきたいと考えている。		
		管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人には、それらを活用できるよう支援している。			
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告	毎月の支払いは直接ホームに来院してもらい、その際に日誌等にて確認しながら生活状況や金銭出納について報告を行なっている。職員の異動がある場合には随時紹介し、状態の変化についてはその都度報告している。法人として通信「ひだまり」を3ヶ月に1回発行している。		
		事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている			
9	15	運営に関する家族等意見の反映	玄関にご意見箱を設置し、苦情受付体制を整備している。家族からの意見や苦情を歓迎し、大切に受け止めている。意見や要望があった場合には、職員に周知を図り、リーダーより家族に返答している。		
		家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
10	18	職員の異動等による影響への配慮	移動については殆ど行なわれておらず、馴染みの関係を大切にしている。法人全体で日常的な交流があり、入居者・家族の安心にも繋がっている。		
		運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている			
5. 人材の育成と支援					
11	19	人権の尊重	職員の採用にあたっては、年齢や性別を基準に排除していない。現在20～60代の職員が勤務しており、資格取得への支援も行われている。定期的な慰安旅行・親睦会の実施、また個人的な問題について相談できる体制が整備されており、ストレス軽減に向けた環境づくりも行なわれている。		
		法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している。			

グループホーム 望海荘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
12	20	人権教育・啓発活動	人権に関する外部研修に参加し、その資料をもとに内部研修を行なっている。プライバシーや高齢者虐待防止、身体拘束など、一つ一つ取り組んでいる。		
		法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育・啓発活動に取り組んでいる。			
13	21	職員を育てる取り組み	法人全体で研修計画があり、職員が交代で講師となり研修を実施しており、DVDに収録して保存している。採用時には新人研修を計画し、日々のケアの中でリーダーより指導がある。外部研修への参加も支援している。		
		運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			
14	22	同業者との交流を通じた向上	京築地区の他施設との交流会議やケア会議に、定期的に参加し、運営・サービスの向上に反映している。市内のグループホームとの相談や見学などが行なわれている。		
		運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			
2. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
2. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用	併設する同法人のデイサービスや軽費老人ホームを利用し、職員や環境に少しずつ馴染んでいけるよう配慮している。法人全体で馴染みの関係を大切に支援しており、また入居者・通所利用者・地域の方々との交流を継続しながら生活できるよう支援している。		
		本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係	漬け物の上手な漬け方や野菜の皮むきのコツなど、一生懸命に教えてもらい、感謝している。「共に生きる」をモットーにしており、職員が悩んでいるときなど隣に座ってくれることがあり、癒されることも多い。人生の先輩として生活の智恵を学んだり、叱られたり、また入居者の方々の厚意には素直に感謝の意を表すようにしている。		
		職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている			

グループホーム 望海荘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	思いや意向の把握	日々の暮らしの中で、会話や表情、行動などから思いや意向の把握に努めている。また家族や関係者からも情報を得るようにしている。		
		一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している			
18	38	チームでつくる利用者本位の介護計画	本人・家族の意向を大切に、関係者の意見を集約し、詳細なアセスメントを基にケアプランを作成、ケアチェック表まで導いている。個別介護計画及び実施表にて、生活状況や役割りなど把握しやすい。今後は、グループホームの特性を活かし、入居者の思いや生活習慣、役割りや楽しみごとが反映された計画作成にも期待したい。		
		本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している			
19	39	現状に即した介護計画の見直し	設定期間により見直しを3～6ヶ月で行なっている。身体・精神状況に変化がある場合は、その都度見直しを行なっている。モニタリングは毎月実施するよう努めている。		
		介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している			
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	事業所の多機能性を活かした支援	併設する軽費老人ホームやデイサービス、ケアプランサービスがあり、入居に至るまでの連携支援が柔軟に行われている。状況に対応した通院介助や、いきつけの美容院などを利用する際にも支援している。		
		本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	かかりつけ医の受診支援	本人・家族の意向を大切に、基本的に主治医の変更は行なっていない。往診を基本としながら、必要に応じて受診介助も支援している。看護師2名の配置により、医療機関との連携が充実してきており、適切な医療が受けられるように支援している。		
		本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している			

グループホーム 望海荘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	49	重度化や終末期に向けた方針の共有	入居時に家族に詳しく説明している。終の住処にして欲しいと考えており、重度化や終末期に向けて、家族の不安や変動する気持ちを考え、その都度話し合いを重ねている。看取りへ対応する体制もあり、本人・家族の意向や関係者との話し合いにより、入居者一人ひとりの状況に対応していきたいと考えている。		
		重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している			
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	プライバシーの確保の徹底	プライバシーの保護や個人情報の取り扱いについて、マニュアルを整備し、内部研修を行なっている。言葉かけについても職員間で客観的な視点から点検している。		
		一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない			
24	54	日々のその人らしい暮らし	基本として個別の日課があるが、その日の希望により柔軟に支援している。入居者一人ひとりの生活習慣やペースを大切に支援している。昼夜逆転している方には、夜勤職員が対応するなど臨機応変な支援に努めている。		
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している			
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	食事を楽しむことのできる支援	包丁で野菜を切る方、味付けをする方、後片付けを手伝ってくれる方など、職員とともに厨房に入り、力を発揮している。蕨や土筆料理、たかな漬や金柑などの季節の食材が、ホームの周辺や畑、果樹園などに豊富にあるので収穫から楽しみ食卓を飾っている。		
		食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている			
26	59	入浴を楽しむことができる支援	週3回を基本としながら、希望やタイミングにより柔軟に対応している。入居者の希望や状況により、デイサービスの浴室を利用しており、リフト浴にも対応している。広い浴室を利用しているが個浴での対応を行なっている。		
		曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している			

グループホーム 望海荘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援	個別の日課表には役割として、掃除・洗濯物干し・洗濯物の取り込み・調理・後片付けなどが明示してある。また書道・カラオケ・大正琴・生花のクラブがあり、リビングには作品が飾られている。季節の野菜の収穫など、畑や庭で土に触れながら過ごすことができる。		
		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている			
28	63	日常的な外出支援	その日の希望や状況により、散歩に出かけている。広い敷地内に四季折々に咲く花や、近隣にある川津桜を見に行くこともある。天候不良の場合でも、併設する施設への散歩を行なっている。馴染みの美容院や近くの大型スーパーへの外出も支援している。		
		事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している			
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践	入居者個々の気分や状況を把握し、ホーム職員の見守りや併設施設職員の協力により、安全面に充分配慮しながら鍵をかけないケアを実践している。日中は全てのドア・窓が施錠されていない。		
		運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる			
30	73	災害対策	災害対策のマニュアルを作成し、京築消防本部の協力の下、定期的に避難訓練を行なっている。地域には運営推進会議を通じ、災害時の協力体制が確立している。これまで台風の際に、近所の方の避難場所として施設を提供したことがある。水・食品の備蓄がある。		
		火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている			
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援	栄養士によるバランスに配慮された献立が作成されている。食事・水分摂取量を記録し、健康管理に役立てている。一度きざみ食にて対応した方でも、ケース会議等にて検討し、普通食が食べられるようになった事例もある。		
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			

グループホーム 望海荘

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり	玄関には、思わず微笑んでしまう木工の猪(手づくり)が出迎え、腰をゆっくり降ろす椅子(手づくり)がある。室内各所に入居者とともに活けられた花が飾ってある。リビングには大小のテーブルや椅子、ソファが配置され、それぞれが思い思いに過ごせる場所が確保されている。		
		共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている			
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮	トイレや洗面台が設置されている各居室には、永年使われた鏡台・馴染みの筆筒・仏壇・テレビ・冷蔵庫などが持ち込まれ、個性ある部屋づくりがなされている。花の名前がつけられた居室は、額縁と手づくりのネームプレートが飾られている。		
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている			